



## 平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年4月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 カネコ種苗株式会社  
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 金子 正明  
 (氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成22年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	26,999	0.7	554	19.5	573	12.9	307	21.7
21年5月期第3四半期	26,817	—	464	—	508	—	252	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	26.39	—
21年5月期第3四半期	21.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	26,661	10,306	38.7	883.81
21年5月期	33,345	10,171	30.5	872.27

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 10,306百万円 21年5月期 10,171百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	6.00	—	10.00	16.00
22年5月期	—	7.00	—	—	—
22年5月期(予想)	—	—	—	10.00	17.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	3.9	1,500	4.7	1,530	3.6	850	3.9	72.89

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無  
 新規 一社 （社名 ） 除外 一社 （社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更）に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第3四半期	11,772,626株	21年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	22年5月期第3四半期	111,539株	21年5月期	111,330株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年5月期第3四半期	11,661,178株	21年5月期第3四半期	11,662,221株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景況感にやや持ち直しの感がみられるものの、世界同時不況やドバイショックの影響等から、依然失業率が高水準にとどまるなど、引き続き厳しい状況にあります。また、国内農業の状況は、農業従事者の高齢化等の構造問題に加え、青果安による農業収入の減少が農家経営をより不安定にしております。こうしたなか、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、施設材事業で養液栽培システムの完工売上高の増加や一般農業資材の販売増などで増収となり、また、農材事業での採算性向上等の要因が増益に貢献し、売上高269億99百万円で前年同期比1億81百万円（0.7%）増、営業利益5億54百万円で前年同期比90百万円（19.5%）増、経常利益5億73百万円で前年同期比65百万円（12.9%）増、四半期純利益3億7百万円で前年同期比54百万円（21.7%）増となりました。

各事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりであります。

#### （種苗事業）

種苗事業においては、輸出関係で前期と比較して円高となったことに伴う円ベースでの売上減があったものの、野菜種子及び緑化工事用種子の国内販売増でカバーし、売上高42億26百万円で前年同期比1.2%の増収となりました。

#### （花き事業）

花き事業においては、厳しい雇用情勢等を反映した消費の落ち込みによりガーデニング需要が低迷するなか、家庭菜園向けの野菜種子・苗や園芸資材の需要を捉えた営業展開により、売上高55億34百万円で前年同期比微増となりました。

#### （農材事業）

農材事業においては、前期は農薬の全面的な値上げがあったことにより、値上げ前の駆け込み需要が発生し大幅増収となりました。その影響から当第3四半期連結累計期間は、売上高106億62百万円で前年同期比2.1%の減収となりました。しかしながら、前述の特殊要因を勘案すると順調に推移しております。

#### （施設材事業）

施設材事業においては、植物工場へ注目が集まったことや当社製品の優位性が評価されてことにより、養液栽培システムの完工売上高が増加したことに加え、一般農業資材関係でのシェアアップにより、売上高63億74百万円で前年同期比5.2%の増収となりました。

#### （造園事業）

売上高2億2百万円で前年同期比増収となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （1）財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、266億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して66億84百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、163億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して68億18百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、103億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

#### （2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は11億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億78百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額・たな卸資産の増加額及び法人税等の支払額が売上債権の減少額を上回ったことなどにより、資金は18百万円減少（前年同期比97.7%減）いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により、資金は1億53百万円減少（前年同期比145.3%増）いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純増により、資金は3億50百万円増加（前年同期比51.1%減）いたしました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年1月6日の平成22年5月期第2四半期決算短信で公表いたしました前回予想を、下表のとおり変更いたします。

変更する要因は、農材事業を中心に採算性の向上を図ることができたこと等により、各利益をやや上方修正するものであります。

通 期

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	46,000	1,450	1,480	830	71.18円
今回予想 (B)	46,000	1,500	1,530	850	72.89円
増減額 (B-A)	—	50	50	20	1.71円
増減率 (%)	—	3.4	3.4	2.4	2.4
(ご参考) 前期同期実績(平成21年5月)	44,271	1,432	1,477	817	70.14円

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 1. 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,569,569	1,390,619
受取手形及び売掛金	11,104,185	18,747,854
商品	4,966,792	4,417,046
その他	1,050,413	866,382
貸倒引当金	△39,015	△65,998
流動資産合計	18,651,945	25,355,905
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,120,338	4,120,338
その他(純額)	1,919,393	1,881,999
有形固定資産合計	6,039,732	6,002,338
無形固定資産	167,409	183,762
投資その他の資産		
その他	1,854,855	1,855,950
貸倒引当金	△52,556	△52,337
投資その他の資産合計	1,802,298	1,803,612
固定資産合計	8,009,440	7,989,714
資産合計	26,661,385	33,345,619
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,936,934	17,536,575
短期借入金	3,568,583	3,012,166
未払法人税等	2,300	394,648
その他	612,057	1,005,122
流動負債合計	15,119,874	21,948,512
固定負債		
長期借入金	—	3,583
退職給付引当金	960,857	997,430
役員退職慰労引当金	204,630	195,030
その他	69,838	29,249
固定負債合計	1,235,326	1,225,292
負債合計	16,355,200	23,173,805
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,752,037	1,752,030
利益剰余金	7,007,960	6,898,508
自己株式	△65,683	△65,497
株主資本合計	10,185,581	10,076,309
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	120,602	95,503
評価・換算差額等合計	120,602	95,503
純資産合計	10,306,184	10,171,813
負債純資産合計	26,661,385	33,345,619

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)
売上高	26,817,872	26,999,768
売上原価	22,100,996	22,045,045
売上総利益	4,716,876	4,954,722
販売費及び一般管理費	4,252,422	4,399,887
営業利益	464,454	554,835
営業外収益		
受取配当金	22,083	25,418
受取家賃	36,947	37,272
その他	40,160	11,327
営業外収益合計	99,191	74,018
営業外費用		
支払利息	47,143	33,694
投資事業組合運用損	—	13,533
その他	8,083	7,708
営業外費用合計	55,227	54,935
経常利益	508,418	573,918
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,522	26,780
特別利益合計	10,522	26,780
特別損失		
投資有価証券評価損	84,710	54,053
その他	1,328	6,653
特別損失合計	86,038	60,707
税金等調整前四半期純利益	432,901	539,991
法人税等	180,060	232,300
四半期純利益	252,841	307,691

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	432,901	539,991
減価償却費	151,160	149,625
売上債権の増減額(△は増加)	8,198,350	7,543,770
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,212,814	△740,226
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,485,870	△6,479,095
その他	△344,056	△340,737
小計	△260,328	673,329
法人税等の支払額	△541,812	△686,449
その他の支出	△21,696	△5,604
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△823,838</b>	<b>△18,725</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△129,751	△138,710
投資有価証券の売却及び償還による収入	64,573	9,387
その他	2,797	△23,697
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△62,379</b>	<b>△153,020</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	890,000	560,000
配当金の支払額	△163,789	△198,617
その他	△9,694	△10,687
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>716,516</b>	<b>350,695</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,701	178,949
現金及び現金同等物の期首残高	895,204	1,002,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	725,502	1,181,069

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	4,176,194	5,514,975	10,893,608	6,058,713	174,382	26,817,872	—	26,817,872
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	34,716	575	1,671	13,584	—	50,546	(50,546)	—
計	4,210,910	5,515,550	10,895,279	6,072,297	174,382	26,868,418	(50,546)	26,817,872
営業利益又は営業損失(△)	639,355	△148,999	302,646	228,467	△12,016	1,009,453	(544,999)	464,454

当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	4,226,157	5,534,258	10,662,604	6,374,207	202,542	26,999,768	—	26,999,768
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	44,409	438	3,048	14,625	—	62,520	(62,520)	—
計	4,270,566	5,534,696	10,665,652	6,388,832	202,542	27,062,288	(62,520)	26,999,768
営業利益又は営業損失(△)	625,243	△127,292	409,747	192,624	△6,522	1,093,800	(538,965)	554,835

(注) 1. 事業区分の方法

売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
種苗事業	野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗
花き事業	球根、花苗、家庭園芸用資材
農材事業	農業用薬品、被覆肥料
施設材事業	農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工
造園事業	造園・土木工事の請負施工

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。